

## GIGAスクールに向けて

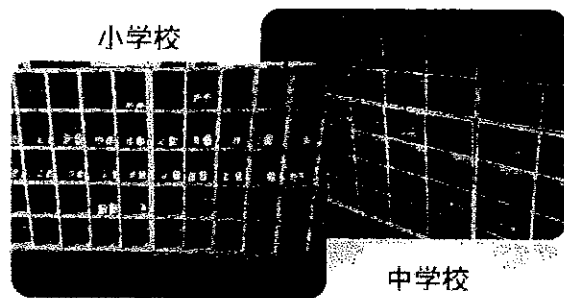
今年は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の対応について多く取り上げられましたが、もう一方で「GIGAスクール構想」も進んでいます。聞き慣れない言葉ですが、GIGAスクール構想とは、一言で言うと「児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを整備し、子どもたちの多様な創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想」です。GIGAとはGlobal and Innovation Gateway for Allの略。

明日香村も、タブレット型のパソコン(クロームブック)が、10月末に全ての児童・生徒に配布されました。今はまだ、使用にあたっての準備中ですが、今後、このタブレット型パソコンを活用しての授業等を行う予定です。

(文科省ホームページ GIGAスクール構想の実現の活用例より)

調べ学習	課題や目的に応じて、インターネット等を用い、様々な情報を主体的に収集・整理・分析。
表現・制作	推敲しながらの長文の作成や、写真・音声・動画等を用いた多様な資料・作品の制作。
遠隔教育	大学・海外・専門家との連携、過疎地・離島の子供たちが多様な考えに触れる機会、入院中の子ども教室をつないだ学び。
情報モラル教育	実際に情報・情報技術を活用する場面(収集・発信など)が増えることにより、情報モラルを意識的する機会の増加。

私たち教職員は、今まで大切にしてきた教育とともにICT(インターネット等、通信技術を利用したコミュニケーション)を使いこなす技能も必要となってきます。ただ、このようなICT環境の整備は教育目標を達成するためのあくまでも手段であるということ。そして、今も昔も大切にしなければならない、子どもたちの姿をよく見るという教育の基本を忘れずに、教育にあたっていきたいと考えています。



上靴・下靴がきちんとそろえてあります!

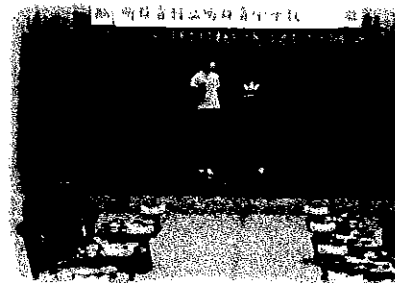
「It's not the same as you」  
 はまものをまんなくと  
 心もまんなと  
 心をまんなと  
 はまものまんなと  
 めぐとまんなとまんなと  
 はくとまんなとまんなと  
 だれかがみだしていたら  
 だましてまんなとあげよう  
 そうすればきつと世界中の人の  
 心もまんなとまんなと  
 藤本幸邦

## 修学旅行実施

今年の修学旅行は新型コロナウイルス感染症防止のため、例年と比べ大幅な変更になりましたが、小・中学校とも全員参加のもと無事に行程を終えました。

新型コロナウイルス感染症第一波の時点では修学旅行の実施そのものが危ぶまれましたが、児童・生徒そして保護者のみなさまの「いい思い出を作りたい、作らせてあげたい」という強い気持ちが全員参加での修学旅行実施につながったと思います。旅行先の各施設でも、感染症対策を十分に講じていただき、安心して2日間を過ごすことができました。

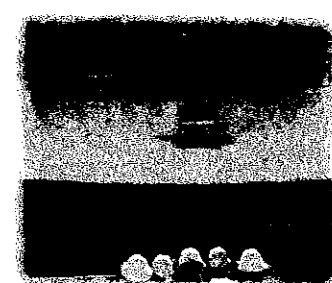
(小学校)10月30日(金)～31日(土) 鳥羽・伊勢方面



(夕食)



(パルクエスパニーヤ)



(鳥羽水族館)

(中学校)11月5日(木)～6日(金) 和歌山方面



(アドベンチャーワールド)



(フランス料理テーブルマナー)



(河野先生による講義・橋杭岩)

### ともに考えましょう!

学校において、児童生徒の学びを保障するために、新型コロナウイルス感染対策を講じながら教育活動を進めているところです。しかし、このような取組を徹底しても学校や家庭において感染リスクをなくすことは容易ではありません。現在、児童・生徒は感染していませんが、万が一感染が確認されたとしても科学的な知見や見解に基づいての正しく向き合っていくことが大切です。全国的に感染症拡大の状況中で、新聞報道やテレビで感染された方への心ない言動を目にするたび、本当に心が痛みます。

学校では、道徳やホームルームの時間を活用しコロナウイルスは「誰もが感染する可能性があること」「感染した人や症状のある人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持ち、感染した人が早く治るよう励まし、治って戻ってきたときは温かく迎えらるるよう。」等々児童生徒と話し合い、考える機会をもっています。どうかご家庭においても、今一度このことについてお子様とじっくりと話し合っ欲しいと思います。